

日本海中部地震地震災害復旧記念碑  
(秋田県男鹿市)



昭和58年(1983)5月26日正午、日本海中部地震(マグニチュード7.7)が発生し多大な被害をもたらした。この地震による若美町(現:男鹿市)の被害は、農業関係97箇所、公共土木関係85箇所、住家全壊75戸、半壊208戸 総被害額 54億4400万円にのぼった。

北但大震災伝承銅像  
(兵庫県豊岡市)



大正14年(1925)5月23日に発生した北但馬地震(北但大震災)により城崎町湯島地区ではほとんどの家が倒壊し、全町が焼き尽くされ272名の死者を出した。当時の町長は、メガホンを片手に焼野を廻り、人々を慰め励ました。

大震災記念碑  
(神奈川県寒川町)



関東大震災(1912)の記念碑。碑の正面には大地震の発生日時、背面には寒川村一之宮地区176戸のうち164戸が全壊

12戸が半壊したこと、被害額、死傷者の名前などが書かれている。

震災記念之碑  
(島根県浜田市)



明治5年2月6日(1872年3月14日)、浜田市沖を震源とする大地震により、浜田市街では地は裂けて家屋は倒壊、火災があちこちで発生し、多くの死傷者が出た。牛市町では家屋83戸が倒壊・焼失し、人口300人余りのうち、死者42名、負傷者100名余りの被害を受けた。

能登半島地震復興感謝之碑  
(石川県輪島市)



2007年3月25日午前9時41分、能登半島地震(マグニチュード6.9)が発生した。

輪島市は震度6強の揺れに見舞われ1名が亡くなり1万件以上の家屋被害が発生した。震災が残してくれたやさしさ 思いやり 絆 仲間 私たちは忘れない

敬諭碑  
(徳島県松茂町)



嘉永7年11月5日(1854年12月24日)に発生した「安政南海地震」の被害の様子を記した石碑。激しい揺れによる家屋の倒壊と火災、液状化現象と津波による田畑の冠水、地震の被害が記されている。

震災追弔の碑  
(静岡県沼津市)



嘉永7年11月4日(1854年12月23日)に発生した安政東海地震により、駿河国大岡村(現沼津市大岡南小林)の約2haほどの土地が一瞬のうちに約12~15m陥没して、住家12戸が埋没、9名が亡くなった。

福岡県西方沖地震復興記念碑  
(福岡県福岡市)



平成17年(2005)3月20日、福岡市玄界灘を震源とするマグニチュード7.0、震度6弱の強い地震により被害が発生した。